

大洲市民文化会館

大洲市民文化会館整備における J A 喜多支所移転後の用地活用について

大洲市

株式会社シアターワークショップ

(1) これまでの経緯について

■ 市民文化会館建設予定地（愛媛たいき農業協同組合本所等跡地）

建設予定地



予定地の概要

敷地面積：約12,000㎡
 （内■個人約1,000㎡）

所有者：JA・個人1名

エリア：JR大洲駅周辺

・JAが移転表明し、公共用地として活用してほしい旨の要望書を提出
 （R2.9.11）

・左図敷地内のうち、「JA喜多支所（赤枠）」については現状のまま業務継続する予定

・個人地権者2名のうち、1名は交渉不成立



【JA喜多支所について】

※機能集約や業務の効率化を図るため、現在地から移転することとし、同支所敷地についても市民文化会館建設予定地として活用してほしい旨の要望書の提出があった。（R3.12.27付）

(2) J A 喜多支所移転後の用地について

【現行】建設予定地の敷地概要



項目		内容
用地面積		約12,000㎡ (近商10,700㎡、第一種住居1,300㎡) うち私有地約1,000㎡
接道	北側	なし
	南側	なし
	東側	12m (歩道2.5m、車道(路肩含む)7.0m、歩道2.5m)
	西側	6.7m

【変更】建設予定地の敷地概要



項目		内容
用地面積		約13,300㎡ (近商12,000㎡、第一種住居1,300㎡) うち私有地約1,000㎡
接道	北側	11m (歩道1.5m、車道(路肩含む)8.0m、歩道1.5m)
	南側	なし
	東側	12m (歩道2.5m、車道(路肩含む)7.0m、歩道2.5m)
	西側	6.7m

(2) J A 喜多支所移転後の用地について

■ J A 喜多支所移転後の用地を取得した場合のメリット／デメリット

【メリット】

- ・ 国道56号側からの動線（進入・退出路）確保が可能となり、利用者の利便性向上が図られる。
- ・ 屋外広場等、屋外スペースの柔軟な検討が可能となる。
- ・ 施設配置計画における選択肢が増える。

【デメリット】

- ・ 建設予定地は、国道の沿道に立地し、国土交通省が公表している「愛媛県地域の主要渋滞箇所（一般道）」で示している主要渋滞ポイント（大洲長浜線交差点～松ヶ花交差点）から半径2 Km以内に位置しているとともに、信号交差点も近接していることから、**車両の進入路**を確保した場合の渋滞への影響が懸念される。

「重要物流道路における交通アセスメント実施のためのガイドライン」参考

(2) J A 喜多支所移転後の用地について

■喜多支所移転後用地の進入・退出路に対する考え方

- 国道56号及び都市計画道路若宮東大洲線から都市計画道路若宮天満線を経由した進入口の確保が可能であることから、施設整備に起因する渋滞の抑制や安全性を確保するため、施設への車両進入口を国道側に設けることは避けるべきであると考え、**歩行者や自転車等での利用者の進入口として活用が可能である。**
- イベント終了時の退出車両を分散させるため、宇和島方面への左折のみの退出口を確保することにより渋滞緩和が可能となる。

■面積が増加することで・・・

- 駐車場確保が前提ではあるが、屋外スペースの柔軟な検討が可能となり、交流拠点としての機能確保にも繋がる。

■喜多支所移転後の用地に対する市の方針について

市民や利用者の利便性向上や交流拠点としての機能確保、交通渋滞緩和策への有効な活用が見込めることから、市としてはJ A 喜多支所跡地についても取得する方向で調整を行うことといたしたい。

